

TSUMURA GROUP DNA Pyramidを軸とする理念経営

明治時代、医療へのアクセスが難しかった女性に寄り添う「中将湯」という和漢婦人薬の製品化が、ツムラの原点でした。一人ひとりの心身の調和を、活力ある社会の形成につなげていく、つまり公益性を伴う成長を、創業当時から志向してきたのです。この創業者の精神と、50～100年先のヘルスケアの未来を見据えて、究極的に成し遂げる事業の“志”として、2022年に当社グループのパーパス「一人ひとりの、生きるに、活きる。」を制定しました。

このパーパスは、津村順天堂創業時から不変の原理・原則である当社グループのプリンシプル「順天の精神」とともに、「TSUMURA GROUP DNA Pyramid」の上位に位置づけています。「順天」とは、中国の古典「易経」に記された言葉で、「天の意志に順(したが)い、人々の願いに応える」という教えに基づいています。「天」を大いなる自然と捉え、いついかなる時も、自然の理法に則って正しく事業を行うことで、人々の究極的な願いである「健康」に寄与する覚悟を表しています。

そして、不変かつ基本的な価値観である「経営理念」と、私

たちの存在意義である「企業使命」をDNA Pyramid の中位に据え、これら基本理念に基づく経営を実践しています。

一番下の階層には、サステナビリティビジョン「自然と生きる力を、未来へ。」と、2031年度のあるべき姿を定めた長期経営ビジョン「TSUMURA VISION “Cho-WA” 2031」を配置しています。この2つのビジョンは、3カ年計画の戦略課題に落とし込まれ、各事業部門の戦略に紐づけています。

このように上位概念からビジョン、そして日々の業務へと一貫した流れでつなぐことで、従業員一人ひとりが自分の仕事の意義を理解しやすい環境を整えています。「なぜこの活動を行うのか」から「どのように価値を届けるのか」、さらに「その結果としてどんな価値が社会に生まれるのか」までを見通せる理念経営を進めています。

これにより、豊かな自然環境の維持や活力ある健康長寿社会の実現など、社会的価値の創造に向けた取り組みが、組織全体で確かな連続性を持って進んでいます。

企業理念の詳細はウェブサイトもご参照ください

<https://www.tsumura.co.jp/corporate/policy/>

TSUMURA GROUP DNA Pyramid

